

生成AI適用事例

株式会社LAplust

2025年03月03日

株式会社LAplust 取締役 原崎芳加



会社概要

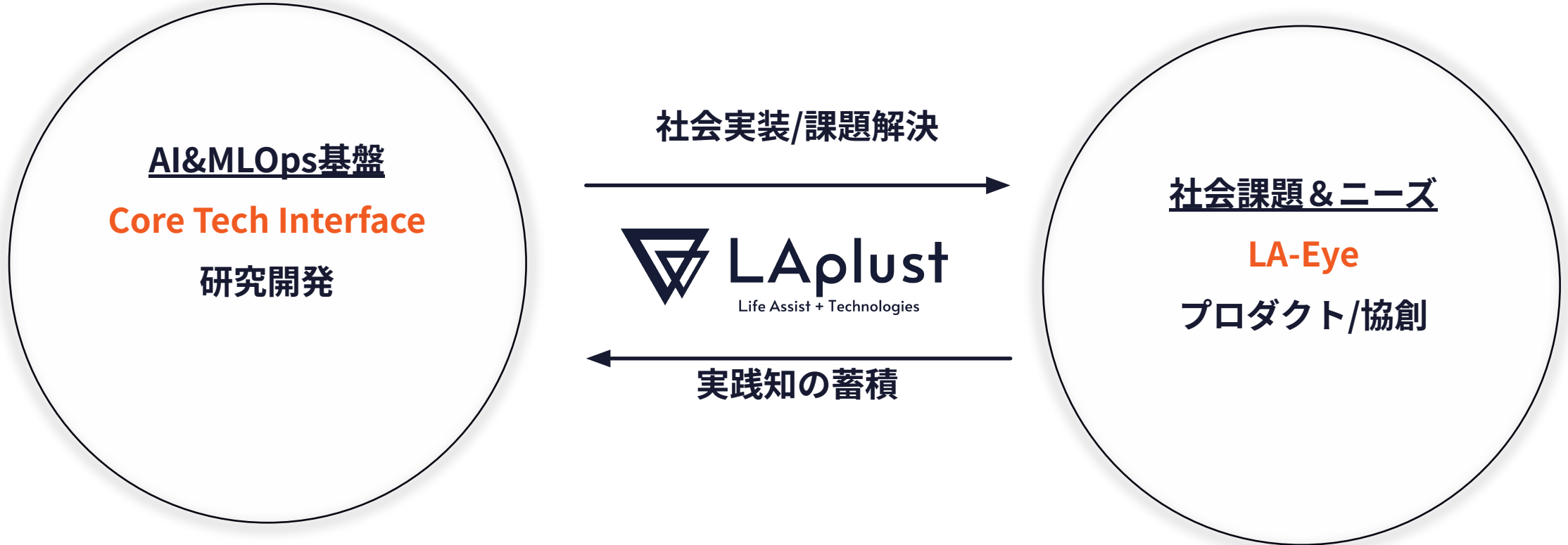
会社概要/取組実績

会社名	株式会社LAplust(ラプラス)
代表者	創業者/代表取締役 田中 宏樹(タナカ コウキ) 創業者/取締役 原崎 芳加(ハラサキ ヨシカ)
創業	2019年04月08日
所在地	長崎県長崎市西坂町5-16
事業内容	AIを活用したソフトウェア/ハードウェアの開発 LA-Eye, LA-Edgeの開発・販売 動画画像解析AIの研究開発
取扱製品	超精密画像解析AI構築ツール LA-Eye *関連特許3件出願

取組実績



主要な取組み



AI&MLOps基盤

Core Tech Interface

研究開発

社会実装/課題解決



LAplust

Life Assist + Technologies

社会課題&ニーズ

LA-Eye

プロダクト/協創

実践知の蓄積

大事にしていること

協創し課題解決を目指す。

課題

×

技術



LAplust

Life Assist + Technologies

精密画像解析AI構築ツールLA-Eye



特徴

ノーコードで高精度なAIモデルを構築し現場導入までシームレスに実現。

LAplustワンクリックアノテーション



特徴

現場課題から生まれた、アノテーション工数を99%削減するためのクラウドサービス。

協業による新事業開発



フィールドワーカーズ
FIELDWORKERS

特徴

LAplustの基盤技術を応用し時間とコストを最小限に抑えた最適なAI利用によるユーザ企業への価値提供をともに目指す。両者の強みを掛け合わせ、業種・分野・規模問わず様々な協創を実現。

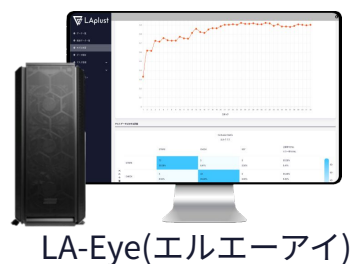
協創先



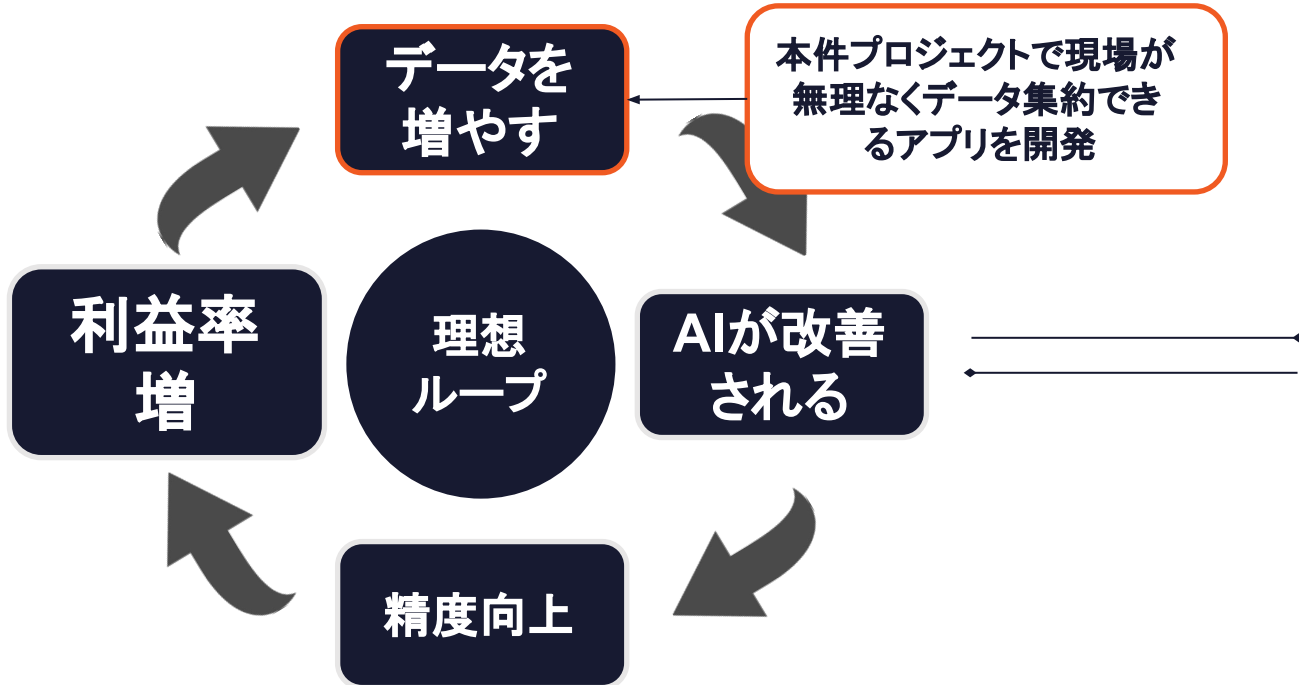
超精密研削加工に強み。70年以上の歴史を持つ加工機メーカー。同社は、高速回転する研削砥石の表面を観察できる**特殊なカメラ**を独自に開発・保有。

取組み

研削加工の最適な加工条件の提示



ユーザ企業の“**利益率の向上**”に貢献

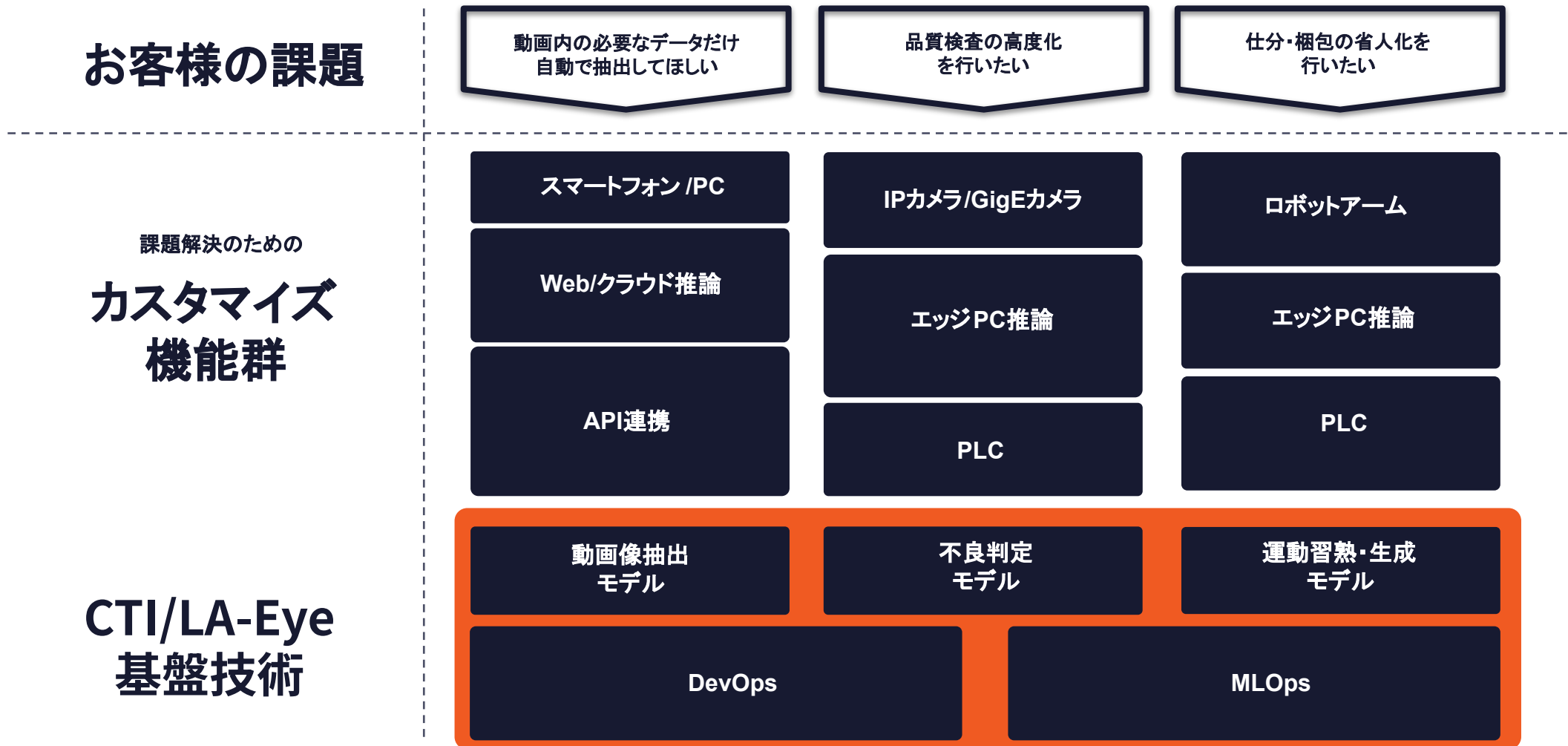


“提供開始後”のAIモデルのライフサイクル



半自動学習技術をコアに価値を“**雪だるま式**”に向上

- AIの精度改善・水平展開も自由自在



LLMによるコードレビュー 高品質化の実践

- LAplust社では、GitとLLMを連携させて、人は「本質的なロジックの確認」に集中できる環境を活用しています。

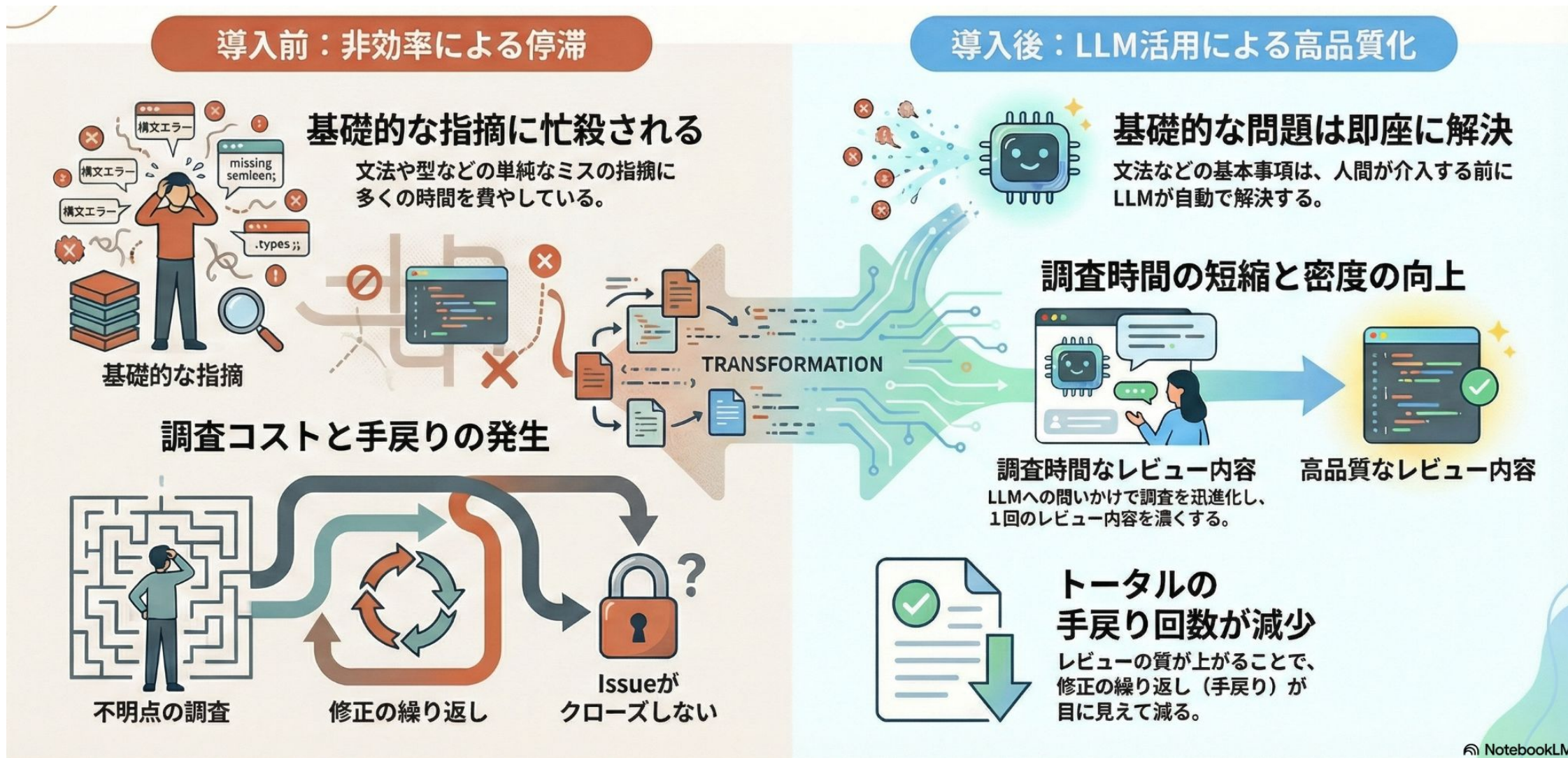
The screenshot shows a GitLab Duo chat window. On the left, a code diff is displayed for the file `app/src/pages/storing-check/_QRPackageListEditor/index.tsx`. The diff shows changes to `setFinalQRIDs` and `setScannedCodes` functions. The main chat area contains a message from GitLab Duo titled "井手 (@ideyuta) の主な指摘" (Main points from Ideyuta). The message explains the design and handling of the code changes, including the role of `scannedCodes` and `finalQRIDs`, and the manual update of `scannedCodes` in `toggleQR`. It also includes a section for "最終的な承認" (Final approval) and a suggestion to work through the changes together.

The screenshot shows a GitLab Duo chat window. On the left, a code diff is displayed for the file `app/src/pages/storing-check/_QRPackageListEditor/index.tsx`. The diff shows changes to `setFinalQRIDs` and `setScannedCodes` functions. The main chat area contains a message from GitLab Duo titled "ご指摘ありがとうございました。" (Thank you for your comment). The message explains the design and handling of the code changes, including the role of `scannedCodes` and `finalQRIDs`, and the manual update of `scannedCodes` in `toggleQR`. It also includes a section for "最終的な承認" (Final approval) and a suggestion to work through the changes together.

ステップ	アクション	内容のポイント
Step 1	Issue作成	実装すべき機能や修正の定義。
Step 2	実装・修正	コーダーによる開発作業。
Step 3	マージリクエスト	レビュアーに対し、変更内容の確認を依頼。
Step 4	LLMレビュー実行	【重要】 レビューアーがプライベートLLMを呼び出し。プロンプトにはプロジェクト固有のルールや前提条件を自動注入。
Step 5	AI結果の精査	レビューアーが「AIの指摘」が妥当かどうかを最終確認。
Step 6	フィードバック	コーダーへ指摘を戻し、Issueが完遂するまでループ。

- **プライベートな LLM の利用**
 - 社外秘コードの漏洩リスクをゼロにし、セキュアな環境でレビューを実施。
- **「前提条件」を網羅したプロンプト**
 - 単なるコードチェックではなく、プロジェクトのコーディング規約や過去の不具合事例を LLM に読み込ませることで、精度の高い指摘を実現。
- **レビュアーを「ゲートキーパー」に特化**
 - 軽微なバグやスタイルの修正は LLM に任せ、人間は「設計思想に合っているか」という高度な判断に専念。

指標	導入後の変化(実感値)	削減の主な要因
問題1件あたりの解決工数	30% ~ 50% 削減 ※潜在的バグの解消も含めた感覚値	基礎的ミスの自動抽出、調査時間の短縮
潜在的バグの発見率	大幅に増加	LLMによる第三者視点の網羅的なチェック
レビューの質(視野の広さ)	向上	レビュアーが高度なロジック確認に集中可能に





「レビューの速度が上がった分、より深い議論ができるようになった。」
— AI/MLOps基盤担当エンジニア
(単なる時短ではなく、「本来防ぐべきだったバグ」を未然に防ぐ守備範囲の拡大)

「LLMは、24時間疲れない『第三者のレビュアー』である。」
— 外部協力会社統括エンジニア
(コーディングポリシー準拠等の基礎確認はAI、人間は調査・判断高速化にシフト)



画像に対するポイント指示による セグメンテーション業務の半自動化



多大な工数

AI開発の90%以上が教師データ作成に費やされ、1点のアノテーションに約100秒もかかってしまいます



品質のバラツキ

手作業によるアノテーションは作業者によって品質にばらつきが生じ、AIの精度向上の妨げとなります



専門人材の不足

アノテーション作業は単純作業に見えて慣れや専門性を要する作業です

AI開発/運用のプロセス

アプリケーション

推論/解析

モデル評価

AIモデル学習

アノテーション
90%以上

データクレンジング

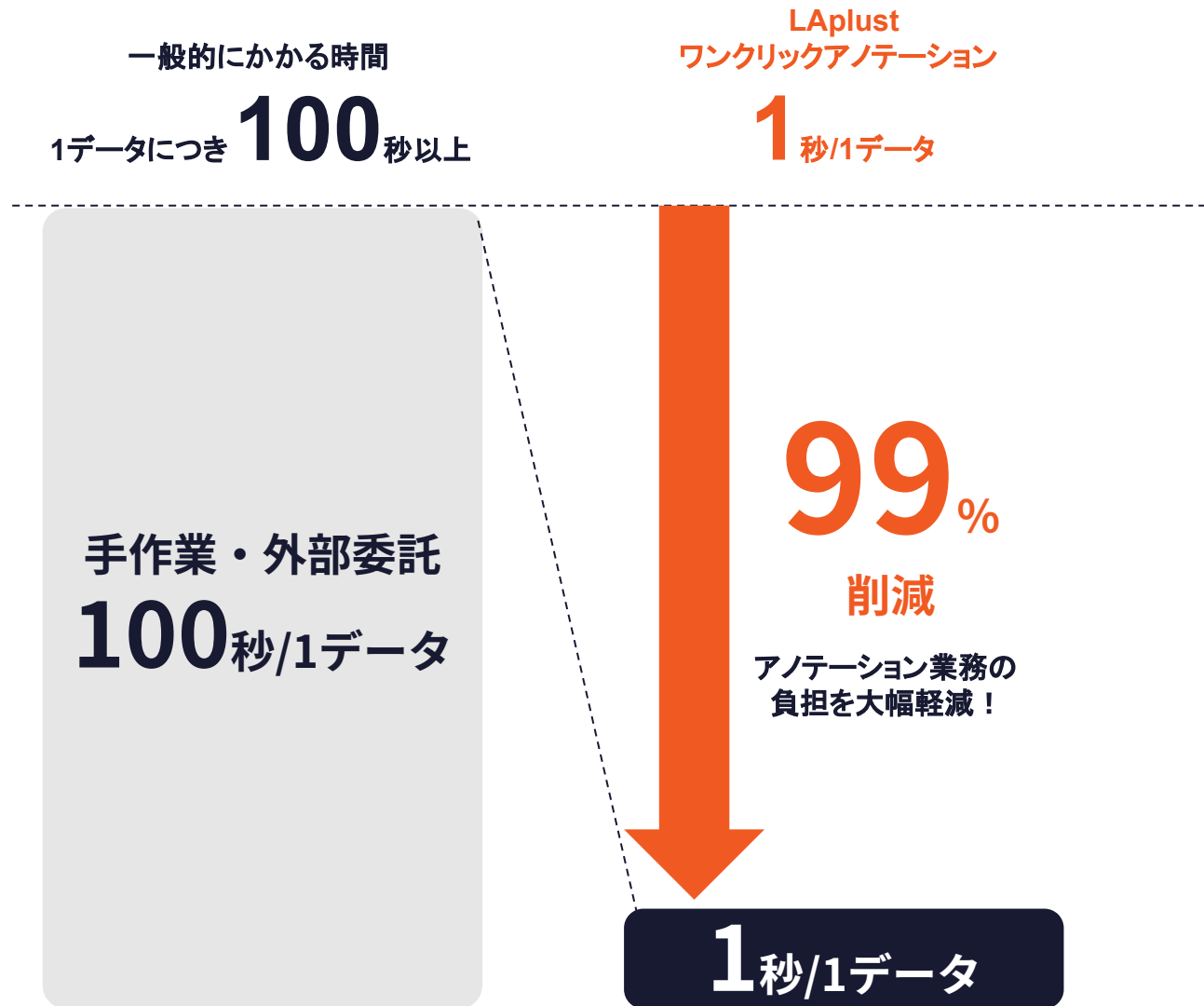
データ収集

アノテーションが9割

AI開発の現場では、開発工数の90%以上がアノテーションなどの教師データ作成に費やされていると言われています。

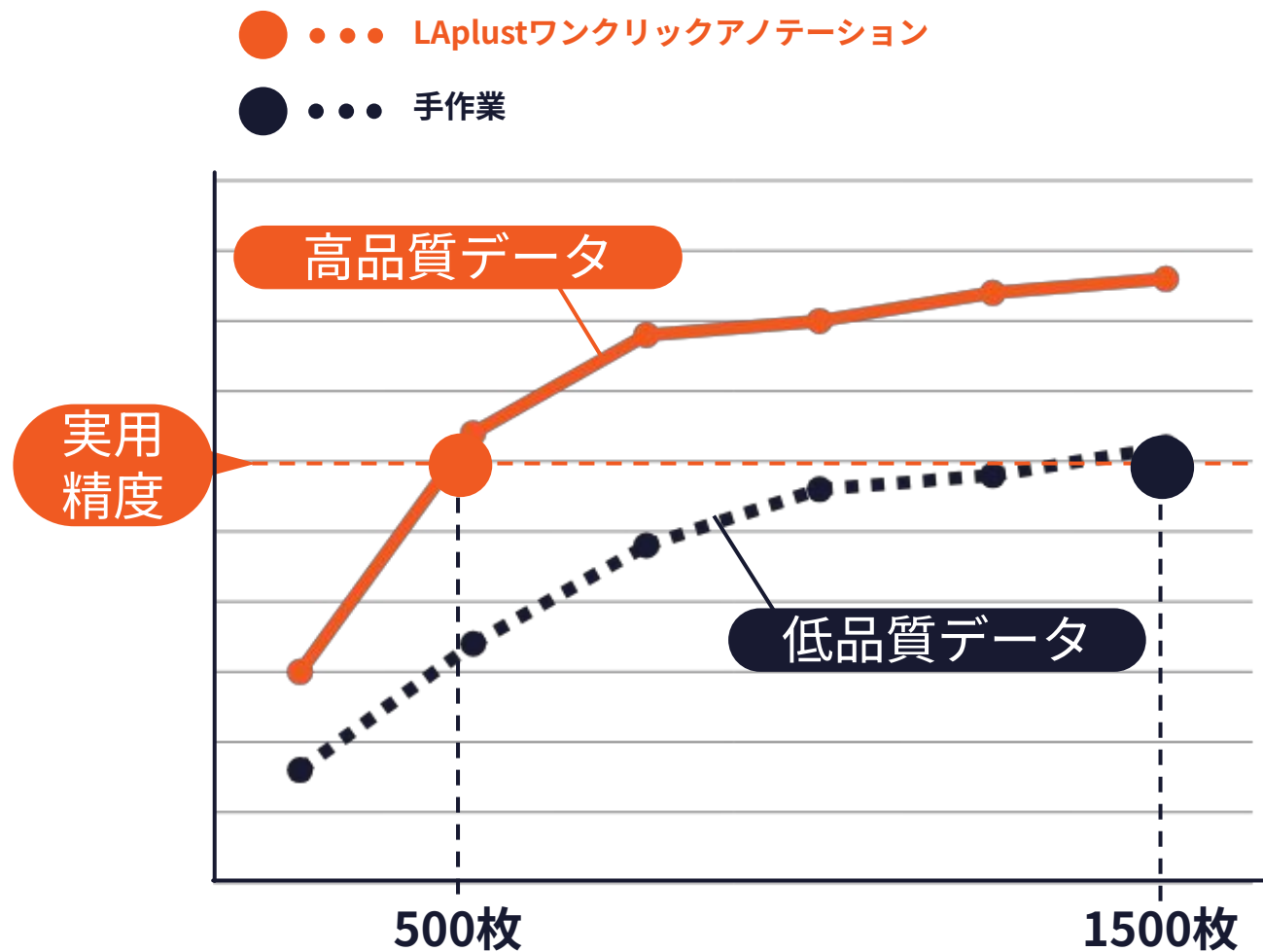
AIを作る前に、疲弊してしまう

- 1を再生
- 2を再生
- 3を再生



作業時間を劇的に短縮

従来100秒以上かかっていたアノテーションが、**ワンクリックで1秒**で完了。
処理枚数が大幅に増え、追加の残業やシフト調整も不要になり、チームの生産性が向上します。



高品質なデータと低品質なデータ でAIを作成した場合の比較

データ量1/3で、安定した実用精度

作業者のスキル差で品質がばらつく課題を解消。
誰が作業しても同一基準で処理でき、高品質なデータを安定して生成できるため、**AIモデルの精度が大きく向上**します。

一般的な作業外注時の相場

1データ **70**円~

LAplust
ワンクリックアノテーション

1データ **5**円~

外注コスト
70円/1データ

1/10
DOWN

アノテーション業務の
負担を大幅軽減！

5円/1データ

人件費・外注費コストを大幅削減

自動化により、熟練スタッフや外注への依存を減らし、人件費や外注費といった**コストを大幅削減**。これまで固定的にかかっていたコストを抑えることで、運用の負担が軽減され、経営面でも安定。

“1データ”とは？

ご清聴ありがとうございました



LAplus

Life Assist + Technologies

補足資料

協創先：加工機



超精密研削加工に強み。75年以上の歴史を持つ加工機メーカー。

所在地：岐阜県
従業員数：145名

取組み

研削加工の最適な加工条件の提示



協創先：建設



大手建設業。ICTによる先進的な取り組みで業界をリード。

所在地：東京都
従業員数：11,163名

取組み

大量データからの不良点抽出



協創先：公衆衛生



蚊やマダニのような感染症を運ぶ衛生害虫対策。

所在地：長崎県
従業員数：数名

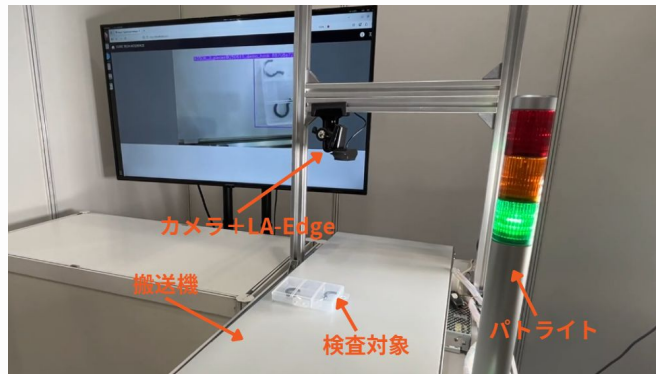
取組み

蚊・マダニの種同定



業種・分野・規模問わず様々な協創を実現

AI検査+搬送機の開発



現場に後付けもできる精密検査機構（PLC, EdgePC, AIを連動）

遠隔監視AI機構の社会実装



太陽光で発電しスタンドアロンで動作するAI監視+通知機器の開発

フィジカルAIの研究



AIが「自律的に考え」、ロボットが「動く」を目指した研究開発活動